

美濃病院経営安定化プラン検証表

(注)1. 資本的収支以外の各金額は消費税抜き額(単位:千円)

2. 患者数は健診・予防接種等を除く

項目		4年度 上期実績値	4年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	3年度 目標値	3年度 上期実績値	備 考	
収益的収支	収 入	1. 入院、外来収益	① 1,180,230	2,313,536	51.01%	2,313,536	1,153,310	
		2. 他会計負担金	② 0	14,632	0.00%	14,632	7,373	
		3. その他	③ 94,430	200,851	47.01%	200,851	93,002	
	医 業 外 収 益	1. 他会計負担金	④ 0	22,468	0.00%	22,468	12,982	
		2. 他会計補助金	⑤ 0	19,981	0.00%	19,981	10,053	
		3. その他	⑥ 95,677	20,000	478.39%	20,000	88,646	
	収入計 (A)		⑦ 1,370,337	2,591,468	52.88%	2,591,468	1,365,366	
	支 出	医 業 費 用	1. 給与費	⑧ 572,241	1,364,158	41.95%	1,364,158	527,089
			2. 材料費	⑨ 139,548	354,062	39.41%	354,062	120,353
			3. 経費	⑩ 284,298	460,281	61.77%	460,281	281,205
			4. 減価償却費	⑪ 105,132	245,210	42.87%	245,210	105,861
			5. 資産減耗費	⑫ 0	1,000	0.00%	1,000	0
			6. その他	⑬ 28,247	53,109	53.19%	53,109	24,371
		医 業 外 費 用	1. 支払利息	⑭ 14,889	34,887	42.68%	34,887	16,239
			2. 繰延資産償却	⑮ 9,019	17,456	51.67%	17,456	9,263
			3. その他	⑯ 19	58,000	0.03%	58,000	13
		支出計 (B)		⑰ 1,153,393	2,588,163	44.56%	2,588,163	1,084,394
		経常利益 (C) =(A)-(B)		⑱ 216,944	3,305		3,305	280,972
		特別損益 (D)		⑲ △ 1,848	△ 3,000		△ 3,000	△ 1,793
		当年度純利益 (E) =(C)+(D)		⑳ 215,096	305		305	279,179
前年度未処分利益剰余金 (F)		㉑ 308,886	256,874		256,874	253,455		
前年度分利益剰余金処分額 (G)		㉒						
前年度繰越利益剰余金 (H) =(F)-(G)		㉓ 308,886	256,874		256,874	253,455		
当年度未処分利益剰余金 (I) =(E)+(H)		㉔ 523,982	257,179		257,179	532,634		
資本的収支	収 入	1. 企業債	㉕ 0			0		
		2. 出資金(他会計)	㉖ 0	144,597	0.00%	144,597	78,101	
		3. 国、県負担金、補助金						
		4. 他会計負担金、補助金						
		5. その他						
	収入計 (J)		㉗ 0	144,597	0.00%	144,597	78,101	
	支 出	1. 建設改良費	㉘ 22,321	20,000	111.61%	20,000	4,766	
2. 企業債償還金		㉙ 128,387	225,915	56.83%	225,915	124,249		
3. その他		㉚ 0				0		
支出計 (K)		㉛ 150,708	245,915	61.28%	245,915	129,015		
差し引き合計 (L) =(J)-(K)		㉜ △ 150,708	△ 101,318		△ 101,318	△ 50,914		
留保資金	前年度末残高		㉝	2,783,970		2,783,970		
	当年度増減額	当年度発生額	㉞	264,671		264,671		
		減価償却費	㉟	245,210		245,210		
		資産減耗費	㊱	1,000		1,000		
		繰延勘定償却	㊲	17,456		17,456		
		収益的収支	㊳	305		305		
		その他(調整を含む)	㊴	700		700		
	当年度充当額		㊵	101,318		101,318		
	資本的収支		㊶	101,318		101,318		
	その他							
当年度末残高		㊷	2,947,323		2,947,323			
一般会計繰出金の合計額		㊸ 0	201,678		201,678	108,509		
年度末企業債残高		㊹	3,035,863		3,035,863			

美濃病院経営安定化プランにかかる目標値と実績値

項目	4年度 上期実績値	4年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	3年度 目標値	3年度 上期実績値	備 考
入院単価(円)	㊺ 41,613	40,500	102.75%	40,500	42,485	
1日あたり入院患者数(人)	㊻ 102.12	107	95.44%	107	103.32	
日数	㊼ 183	365		365	183	
入院収益(千円)	㊽ 777,668	1,581,728	49.17%	1,581,728	803,273	
外来単価(円)	㊾ 13,216	10,800	122.37%	10,800	12,768	
1日あたり外来患者数(人)	㊿ 247.65	280	88.45%	280	224.72	
日数	㋀ 123	242		242	122	
外来収益(千円)	㋁ 402,562	731,808	55.01%	731,808	350,037	
経常収支比率(%)	㋂ 118.81	100.13	118.65%	100.13	125.91	
医業収支比率(%)	㋃ 112.86	102.70	109.89%	102.70	118.40	
職員給与費比率(%)	㋄ 50.71	53.94	94.01%	53.94	48.49	
病床利用率(%)	㋅ 83.71	87.70	95.44%	87.70	84.69	
平均在院日数(日)	㋆ 12.12	15.00	80.80%	15.00	12.01	
後発医薬品への転化率(%)	㋇ 31.67	37.00	85.59%	37.00	32.33	
紹介率(%)	㋈ 33.10	25.00	132.40%	25.00	31.00	
年延手術件数(件)	㋉ 279	785	35.54%	785	244	
年延入院患者数(人)	㋊ 18,688	39,055	47.85%	39,055	18,907	
年延外来患者数(人)	㋋ 30,461	67,760	44.95%	67,760	27,416	
年健診受診件数(件)	㋌ 9,473	12,500	75.78%	12,500	11,489	
一月平均訪問看護利用者数(人)	㋍ 98.67	84	117.46%	84	98.67	

## 令和4年度上半期 美濃市立美濃病院経営安定化プラン検証委員会議事録

開催日時：令和4年11月24日（木） 午前10時50分～11時10分

開催場所：防災中央コミュニティーセンター 4階合同委員会室

出席委員：堀部副市長 瀨瀬総務部長 西部民生部長 井上市長公室長 篠田会計管理者  
辻保健センター所長 後藤総務課長 古田福祉子ども課長 山岡高齢福祉保険課長  
林病院事務局長 井川病院事務局管理課長

書記・事務局：春田病院事務局管理課長補佐

### 議題

令和4年度上半期美濃病院業務状況の説明（病院事務局管理課長）

- ① プランの検証について  
新プラン「公立病院経営強化プラン」の策定は来年度となるため、引き続き、既存プランの最終年度の数値を目標値として検証を実施する。
- ② プランの目標値との比較  
入院収益については、入院単価が増加しているものの、患者数が減少しており目標値を下回っている。外来収益については、コロナウイルスの影響による受診控えのため、患者数は減少しているが、外来単価が大幅に増加しており、目標値を上回っている。  
・経常収支比率、医業収支比率については、ともに目標値を上回っており、経営状況は良好である。年健診受診件数が目標値を大きく上回っていることが一因である。
- ③ 収益的収入・支出及び純利益  
収益的収入は1,370,337千円、収益的支出は、1,153,393千円で、純利益は215,096千円となっている。前年度より約64,000千円の減額となっている。主な理由は、医師の増員による給与費の増加と一般会計繰入金の支払いが遅れたことによるもの。

### 質疑等（要旨）

市長公室長：目標値は決算値だから、今回の検証では、現状値が50%あればよいと考えればよいか？

・・・そのとおりです。

副市長：前年度に引き続き、コロナウイルスの補助金により、赤字だった病院が黒字となる特殊な状況が続いている。

副市長：病院の医療費を含めた債権管理が問題となっている。適切な対応をお願いしたい。

高齢福祉保険課長：国保ドックの受診者数も徐々に上がっている。今後も枠を増やしたい意向であり、健康管理センターの対応をお願いしたい。

保健センター所長：集団健診のみでの対応としていたヤング健診等について、健康管理センターでの個別健診での実施を検討していきたい。

総務課長：年延手術件数が目標値を大きく下回っている要因は？

・・・患者数が減少したことによるもの

副市長：医師数は増加傾向にあるのか？

- ・・・今年度は半年から1年程度勤めていただける専攻医の医師が4人も来ていただくことができたが、来年以降は不透明であり、医師不足の状況は継続している。

#### 検証及び評価のまとめ

- ①令和4年度上半期経営実績に関しては、コロナウイルスの影響により、患者数や病床利用率の項目については目標が達成できていないが、コロナ関連の加算や補助金により収益関連の目標は達成している。後期も、コロナウイルスの感染対策を図りながら、引き続き一層の経営安定化を図りたい。
- ②コロナ禍終了後の、加算や補助金がなくなった場合を想定し、プランの目標達成に向けその補填に向けて努力すること。
- ③常勤医師等の確保については引き続き努力すること。